



岸 高明の議会だより

事務所 茅ヶ崎市新栄町7-1 岸ビル6F

自宅 茅ヶ崎市本村4-10-8

<http://www.takaaki-kishi.com/>

mail: t-k@takaaki-kishi.com

会派茅ヶ崎クラブ会長 都市建設常任委員長 総合計画審議会委員

Tel 0467-51-4838

Fax 0467-51-4839



新年に向けて

～～ 希望ある明日に期待して

衆議院選挙 ～～～

この議会だよりをお届けする平成24年12月には衆議院選挙が実施され、衆知のように、自由民主党が衆議院480議席中294議席を占めるといふ大躍進を果たしました。自民党自身が「国民は、消去法から自民党を選んだにすぎません。今回の選挙で自民党に最後のチャンスを与えた」と捉えた発言を行っています。勝利に驕ることなく、国民が真の豊かさと安全・安心を実感し、どの世代も明日に希望を持てる国づくりを目指して欲しいものです。

～～ 安心の茅ヶ崎へ ～～～

昨年の東日本大震災から復興への道筋も立たないまま、正月を迎えた平成24年でした。

私たちの住む茅ヶ崎市も津波で襲われるのではないかと不安でした。東日本大震災の教訓をもとに、神奈川県では、過去にさかのぼりに再調査し、平成24年当初に新たな津波被害予測図を発表いたしました。自然相手に絶対という事はありませんが、その調査では、一部の地域で浸水被害が予測されるにしても、茅ヶ崎市の市街地が津波で壊滅的な被害を受けるという事はないとの事です。

津波対策は無論の事、地震による建物倒壊、その後の市街地での火災延焼についても防災予防、発生時の対応、復旧等に最重点化し対応した本年でした。12月21日には図上訓練を実施しています。市議会議員として平成25年も安心して暮らせるまちづくりに努めます。

分権は迷走か、市と県の役割は

今年、神奈川県柳島キャンプ場が茅ヶ崎市に移譲され、現在は無料でプレオープンしています。12月議会では、廃止された県営西浜駐車場の北側隣地の県有地を茅ヶ崎市が公園用地として利用するために購入をいたしました。

県の施設が市の管理になったと手放しで喜ぶ訳には行きません。キャンプ場であれば宿泊棟や下水道の整備が必要で、日々の管理費用が発生します。公園も整備と管理費が同様に必要です。海岸地域の観光振興や余暇施設としての価値は認めるとしても、結局、施設利用者は市民であり県民です。県財政が苦しいからと言って市に負担を求めるといふ姿勢には疑問を感じます。

県では、知事を本部長とする県緊急財政対策本部に助言をする外部有識者(神奈川県臨調)を立ち上げ、里山公園なども市への移管候補としています。

12月の衆議院選挙では、地方首長や経験者である橋下大阪市長(元知事)、石原知事、嘉田知事などが第3極のけん引役となり注目を集めました。消費税の地方税化や税源移譲を叫ぶとき、その地方とは県、それとも市なのでしょうか。国土交通省地方整備局など3機関を都道府県ブロックの広域連合へ移譲との案に、県は賛成の方向でも、市町村は慎重姿勢をとっています。理由は、都道府県の権限が肥大化しかねないと市は懸念をするのです。横浜市は県から独立した特別自治市を求め、一方、政令市を県並みの権限とする論もあります。本県は、政令都市を3市も抱え、残された市町村だけで県機能を維持できるのか疑問が残ります。明治から続く地方組織改革です。道州制も含め、権力・税源の奪い合いでない幅広い議論が必要と考えています。



平成25年からの3か年計画

第2次実施計画

平成23年度から始まった10年間の総合計画をより具体的に示した平成25年度からの3年間の計画が第2次実施計画。平成24年12月22日時点で各地区での懇談会、パブリックコメントは終了し、ほぼ計画は完成。計画は議会の議決案件ではありません。議会としては、年度毎の予算と決算の審議が主戦場です。平成25年2月20日から予算審議を行う3月議会が開催されます。



さがみ縦貫道開通

遅れていたさがみ縦貫道が茅ヶ崎まで繋がります。来年(平成25年)3月までには茅ヶ崎 JC から寒川北 IC 間、平成26年度には茅ヶ崎から相模原愛川 IC まで一本で繋がる予定です。茅ヶ崎市から県央、そして東名高速・中央自動車との利便性が圧倒的に向上します。この機会を生かすために、萩園地区のインター近くで新たな土地利用計画を進めています。新湘南バイパス経由しての箱根や江の島への通過交通地点に茅ヶ崎をしません。県央・県外から訪れ人たちが“足を止めたいくなる”魅力的な街づくりを進めてまいります。



議会改革度は86位と割と上位に

日経グローバルの調査によると茅ヶ崎市の議会改革度は全国810市中の86位に。県内では、横須賀市・鎌倉市に続く3位。茅ヶ崎市議会の議会基本条例制定、議会としての報告会実施、事業評価の実施は、まだ他市での実施例は少ない状況。



私の一般質問

地震では、津波被害以外にも建物の倒壊、そして、その後の火災延焼に対する防災対策が必要です。

平成20年度に調査した茅ヶ崎市の地震による地域危険度測定調査報告によると、大規模な延焼火災が発生する可能性が指摘されています。藤沢市などに比べ、市街地で一度火の手が上がると火災を遮断する川などがなく延焼が拡大しやすい本市です。市内の地域事情に合わせて防火地域が指定され、それに適合した建築物を建てなければなりません。しかし、以前は、住宅がまばらだった地域でも年月の経過と共に住宅が密集、工場の敷地が住宅街へと変貌するなどして建築物の防火性能が実情に合わなくなります。火災延焼防止のために、街の現状に適合した防火地域・準防火地域と見直す必要があります。

一中通りの鉄砲道近くに防火水槽が整備され、上部は車道が広いバスの停留場(バスベイ)に。



市役所建て替え

基本計画が完成しました。来年度(25年度)中に実施設計を完了させ建築工事に入ります。平成27年度中に建築完了し供用開始する予定です。

- ☆現在の西側駐車場の場所に建設。
- ☆延床面積は現在の庁舎より若干広い 16,500 m²。
- ☆総事業費は現庁舎解体費込の約 72 億円。
- ☆消防本部と通信指令室が入る。(消防署では無い)
- ☆柱頭免震構造

※鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨/地下駐車場



県内最大の木簡

新国道線工事に伴う居村遺跡の発掘調査で、長さ45.8cmで大きさ文字数とも県内最大の木簡を発見。文字から貞観時代(西暦859年~877年)の行事に関する食糧支給簿と思われる。